

ダイヤネット

ダイヤネットは、会員が自主的かつ主体的に ICT を活用して、相互に交流を行い、社会参加、社会貢献活動、環境問題、生きがづくり等に貢献することを目的に、5年間の前身*での活動を経て 2000 年に設立されました。会員数は 2012 年 4 月 1 日現在 105 名です。

*ダイヤネットワーク：1995 年、ダイヤ財団のモデル事業として発足し、パソコン通信を手段として財団賛助会員会社の退職高齢者のコミュニケーションと生きがづくりに成果を挙げました。

ダイヤネットの活動事項

- 1) ICT を活用したコミュニティの形成・運営、情報交換（HP 掲示板、お知らせ、会員情報等）
- 2) ICT のネットワークを活用した会員相互及び社会との情報交流
- 3) 会員相互の交流活動と実践活動（ICT を活用した社会参加、生涯学習、調査研究、趣味・スポーツ等）
- 4) ICT の習得・技術向上・活用のための研修会の開催（「DiaPC」等）
- 5) シニア情報生活アドバイザーの養成
- 6) ダイヤネットの活動に関連をもつ団体・グループとの交流・連携
- 7) 上記の活動の成果を社会へ広く発信する

活動紹介

（詳細は、URL：<http://www.dia-net.jp/>をご覧ください。）

◆ICT 技術研修 DiaPC

DiaPC の目的は、誰もが自然に、無理なく、安全に利用できる情報ネットワーク環境を利用するのに必要な知識・技術を学習することで、インターネット及び ICT 技術の利用、パソコン及びその周辺機器のハード・ソフトの利用、デジタル機器の利用等に習熟することにあります。今秋からタブレットの講習を開始しました。

DiaPC の運営は会員により共同で自主的に実施されることを原則としています。講師は、スペシャリストや第三者に依頼することもあります。原則として月 1 回研修会を開催し、必要に応じて臨時に研修会を開催します。

◆古寺・名刹巡り

ダイヤネット「古寺・名刹巡り」は、2000 年度の秩父 34 観音巡りに始まります。この活動は観音巡りという昔から行われている巡礼をインターネットと電子メールを使い、生きがいと健康に活かすという、シニアらしいライフスタイルへの提言とも言えるものです。秩父については政府主催のインターネット博覧会に「楽網ウォーカーズが楽しむ 秩父 34 観音巡り」として紹介されました。これまでの古寺・名刹は各巡礼ごとにホームページに掲載しています。

◆歴史探訪

現在の三菱各社は、戦後、それぞれ独立した企業として発足し、所期奉公・処事光明・立業貿易の共通理念のもとに、社会、経済の発展に貢献すべく事業を進めています。三菱関係ゆかりの場所を探訪し、またそこに収められた当時の公開資料を見学、閲覧し、その時に思いを馳せ、三菱の源流を探るための歴史探訪会が立ち上がりました。

1999年8月を第1回として人気の高いイベントとして毎年継続して実施しています。2004年度以降は、三菱に限定せず広く首都圏の歴史探訪を行うこととし名称も「三菱歴史探訪」から「歴史探訪」として実施しています。

今春から美術館巡りの「文化深訪会」もスタートしました。

◆シニア情報生活アドバイザー

「シニア情報生活アドバイザー」は、シニアがパソコンやネットワークを利用するときのリーダーと期待され、パソコンやネットワークの使い方を教えるだけでなく、具体的には下記の事項を教えています。

- ①パソコンやネットワークを趣味に役立てる方法
- ②パソコンやネットワークで生活を楽しく便利にする方法
- ③パソコンやネットワークを社会参加のために役立てる方法

また、活動支援を通じて、パソコン・ネットワーク活用をシニアに広げ、民間パソコン学習サークルの講師や、地域情報化に関連したボランティア、あるいはパソコンボランティア、訪問サポートなどさまざまな場面での活動を行っています。

地域情報化の主たる活動として荻窪を拠点に「ゆうゆう杉並パソコンサロン」と「デジカメを愉しむ会」を運営しています。

◆その他、高齢者の放談サロン「サンジュ茶論」と戸外活動の「歩こう会」「100CLUB(ゴルフ会)」、年一回の「旅行会」等を開催しています。

*ダイヤネットについてのお問い合わせは以下のメール宛でお願いいたします。

ダイヤネット：dia-net@dia-net.jp



パソコンサロン研修風景



越後の古刹を訪ねて